

2021年度 第2四半期  
**決算概要**



2021年11月11日  
日揮ホールディングス株式会社

グループ財務部長の田口です。

これから、2021年度第2四半期の決算概要を説明させていただきます。

# Agenda

---

1. 2021年度第2四半期ハイライト
2. 連結損益計算書
3. セグメント情報
4. 連結貸借対照表
5. 連結キャッシュ・フロー計算書
6. 受注の状況
7. 業績見通し

## 1. 2021年度第2四半期ハイライト

- 総合エンジニアリング事業では、国内外案件の着実な遂行により利益率が上振れ
- 機能材製造事業は需要回復により増収増益
- イクシスLNGプロジェクトに関する顧客との係争が終結

最初に第2四半期のハイライトをまとめています。

総合エンジニアリング事業では、着実な遂行により採算が改善する案件が複数あり、利益率は期初想定に対して上振れました。

機能材製造事業はファインケミカル分野を中心に需要回復が続いており、増収増益基調が鮮明になってきました。

イクシスLNGプロジェクトに関する顧客との交渉については、今般、最終合意による和解が成立し、第1四半期に計上した特別損失の範囲内で終結することができました。

## 2. 連結損益計算書 (決算短信 P.8)

			【億円】
	FY2020 2Q	FY2021 2Q	前年同期比
売上高	1,994	<b>2,179</b>	+185
売上総利益	215	<b>208</b>	△ 7
利益率	10.8%	<b>9.6%</b>	△ 1.2pt
営業利益	115	<b>103</b>	△ 11
経常利益	119	<b>126</b>	+6
親会社株主に帰属する 四半期純利益・純損失	39	△ <b>484</b>	△ 524

次に損益計算書です。

売上高は前年同期比185億円増収の2,179億円。

売上総利益は7億円減の208億円。

営業利益は11億円減の103億円でした。

前年同期に一過性の利益積み増しが大きかったこともあり減益となっていますが、粗利益率は9.6%と期初予想の8.1%を上回りました。

経常利益は前年同期比6億円増の126億円です。

持分法投資利益の増加や、円安による為替差損の減少により増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は484億円です。

イクシスLNGプロジェクト関連損失として特別損失を計上したことで最終赤字となっています。

### 3. セグメント情報 (決算短信 P.13)

		【億円】			
		FY2020 2Q	FY2021 2Q	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	1,784	<b>1,956</b>	+171	+10%
	セグメント利益	91	<b>71</b>	△ 19	△ 22%
機能材製造	売上高	201	<b>214</b>	+12	+6%
	セグメント利益	27	<b>37</b>	+10	+39%
その他 (調整額含む)	売上高	8	<b>8</b>	+0	+4%
	セグメント利益	△ 3	<b>△ 5</b>	△ 2	-
合計 (連結)	売上高	1,994	<b>2,179</b>	+185	+9%
	セグメント利益	115	<b>103</b>	△ 11	△ 10%

次にセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業では手持ち案件が着実に進捗しております。売上高は前年同期比171億円増の1,956億円。

セグメント利益は19億円減の71億円です。

主な売上案件は、LNGカナダプロジェクト、モザンビークFLNGプロジェクト、イラク製油所近代化プロジェクト、国内バイオマス発電案件などです。

機能材製造事業は需要回復を受けて増収増益となりました。

売上高が前年同期比12億円増の214億円。

セグメント利益は10億円増の37億円です。

その他はご覧のとおりです。

## 4. 連結貸借対照表 (決算短信 P.6~7)

【億円】			
	FY2020	FY2021 2Q	増減
流動資産	5,483	<b>4,964</b>	△ 519
固定資産	1,541	<b>1,546</b>	+4
総資産	7,025	<b>6,510</b>	△ 514
	FY2020	FY2021 2Q	増減
流動負債	1,970	<b>2,048</b>	+78
固定負債	878	<b>815</b>	△ 63
純資産	4,176	<b>3,646</b>	△ 529
JVキャッシュ 当社持分	1,970	<b>2,026</b>	+55

次にバランスシートです。

総資産は期初から514億円減少して6,510億円となりました。

イクシスLNGプロジェクト関連の顧客との交渉が最終決着したことに伴い、第1四半期に計上した引当金を取り崩しています。前期末比で見るとイクシスLNGプロジェクトの特別損失により最終損失となったことで純資産が減少しました。

自己資本比率は55.9%で、健全な財政状態を維持しています。

バランスシートに計上していないジョイントベンチャーのキャッシュの当社持分は2,026億円となっています。

## 5. 連結キャッシュ・フロー計算書 (決算短信 P.10)

	【億円】		
	FY2020 2Q	FY2021 2Q	前年同期比
営業 キャッシュ・フロー	△ 175	△ <b>48</b>	+127
投資 キャッシュ・フロー	△ 33	△ <b>39</b>	△ 5
財務 キャッシュ・フロー	169	△ <b>9</b>	△ 178
現金及び現金同等物の増減	△ 39	△ <b>91</b>	△ 51
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,579	<b>2,591</b>	+12

次にキャッシュ・フローです。

現金及び現金同等物の期末残高は2,591億円と、期初から91億円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは48億円の支出となりました。主に総合エンジニアリング事業での工事進捗に伴い、過年度入金した前受金からの支払が進んだことでマイナスになっています。

投資活動によるキャッシュ・フローは、コーポレートベンチャーキャピタルへの出資、機能材製造関係設備投資、DX関連投資など39億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払などにより9億円のマイナスでした。

## 6. 受注の状況 (決算短信 P.15)

### i) 受注高

	FY2020 2Q	FY2021 2Q	通期予想
海外	4,688	134	3,400
国内	293	1,104	1,600
合計	4,981	1,239	5,000

【億円】

次に受注の状況です。

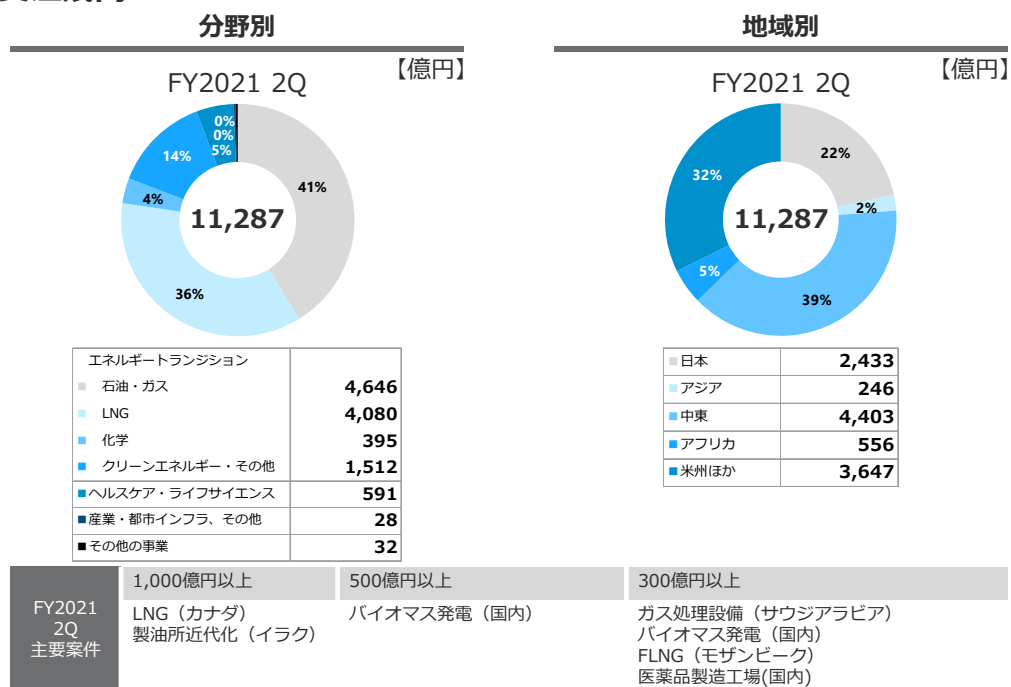
通期予想5千億円に対して1,239億円となっています。

海外は、大型の期待案件の決定時期が年度終盤を見込んでおり、134億円にとどまっています。

国内の受注は好調です。1,104億円と通期予想の約7割を確保しました。医薬品製造工場建設工事などが主なものです。



## ii) 受注残高



次に受注残高です。

2021年9月末の受注残高は1兆1,287億円と、前期末から若干減少しました。

分野別では石油・ガス関係が41%、LNGが36%となっています。

地域別では国内が22%に増えた一方、売り上げが進んだ米州他が32%に減少しています。

## 7. 業績見通し

通期業績予想を修正しております。

【億円】

	通期予想 (修正前)	通期予想 (修正後)	増減	
受注高	5,000	<b>5,000</b>	-	-
売上高	4,700	<b>4,700</b>	-	-
売上総利益	380	<b>420</b>	+40	+11%
利益率	8.1%	<b>8.9%</b>	+0.8pt	
営業利益	160	<b>200</b>	+40	+25%
経常利益	190	<b>240</b>	+50	+26%
親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失	△ 460	<b>△ 420</b>	+40	-
1株当たり配当金	15.0円	<b>15.0円</b>	-	
換算レート(米ドル)	110円	<b>113円</b>	+3円	

最後に業績見通しです。

総合エンジニアリング事業での第2四半期までの利益の上振れと、機能材製造事業の需要回復による増益基調を受けて利益項目を上方修正しています。

受注高、売上高、配当予想は変更しておりません。

この予想に使用した為替レートは1米ドル113円です。為替変動による影響は1円当たり売上高30億円、粗利益3億円、経常利益段階で4億円です。

以上で決算概要説明を終わります。

# 参考資料

## 参考（2021年度 セグメント別 業績見通し）

セグメント別業績予想を修正しております。

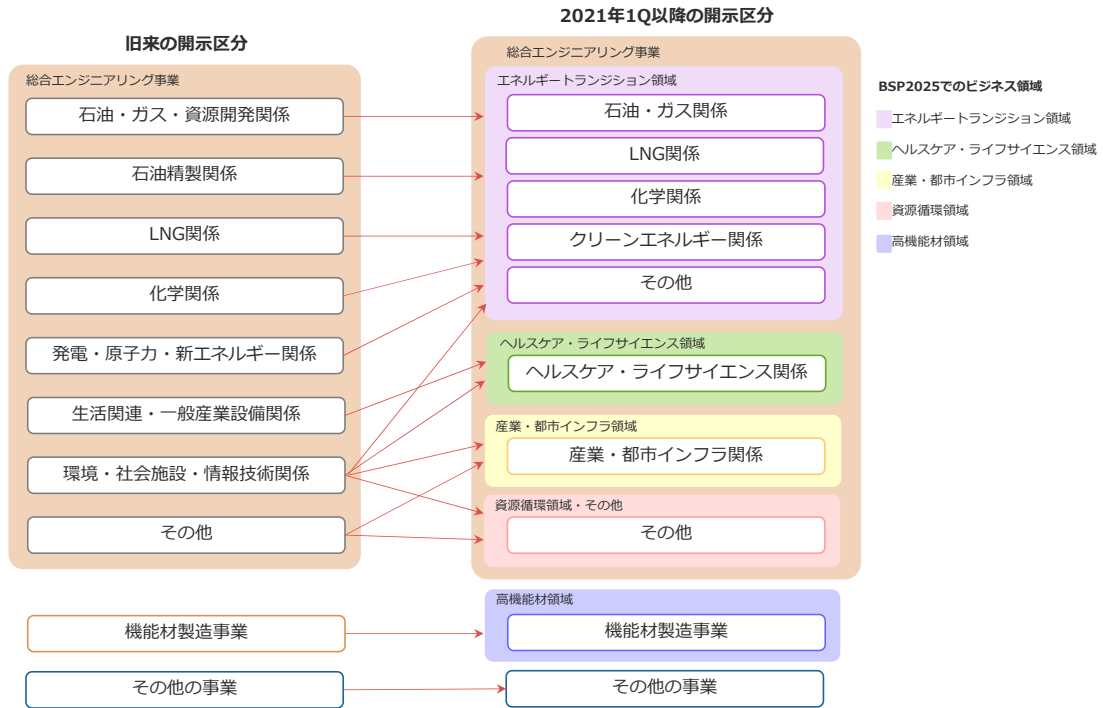
修正前	【億円】		
	総合 エンジニアリング	機能材製造	その他 (調整額含む)
売上高	4,240	400	60
セグメント利益	110	50	0
利益率	2.6%	12.5%	0.0%

修正後	【億円】		
	総合 エンジニアリング	機能材製造	その他 (調整額含む)
売上高	4,210	430	60
セグメント利益	130	66	4
利益率	3.1%	15.3%	6.7%

## 参考（地域別売上高、受注高）

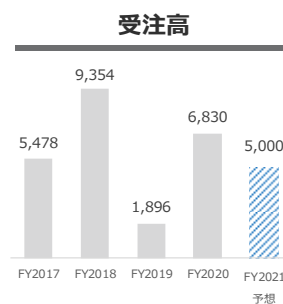
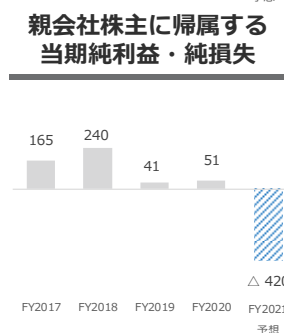
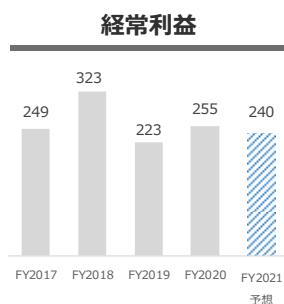
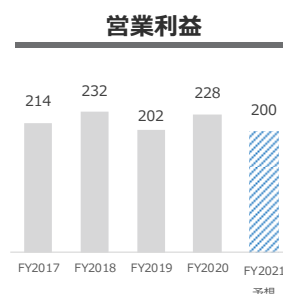
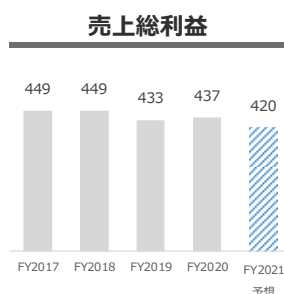
売上高			受注高		
	【億円】			【億円】	
	FY2020 2Q	FY2021 2Q		FY2020 2Q	FY2021 2Q
日本	780 (39.1%)	<b>715</b> (32.8%)	日本	293 (5.9%)	<b>1,104</b> (89.1%)
アジア	231 (11.6%)	<b>209</b> (9.6%)	アジア	52 (1.1%)	<b>48</b> (3.9%)
中東	156 (7.9%)	<b>159</b> (7.3%)	中東	4,483 (90.0%)	<b>4</b> (0.4%)
アフリカ	205 (10.3%)	<b>317</b> (14.5%)	アフリカ	15 (0.3%)	<b>9</b> (0.7%)
米州ほか	620 (31.1%)	<b>777</b> (35.8%)	米州ほか	136 (2.7%)	<b>72</b> (5.9%)
合計	1,994 (100.0%)	<b>2,179</b> (100.0%)	合計	4,981 (100.0%)	<b>1,239</b> (100.0%)

# 参考（開示情報の変更）



## 参考（業績推移 - 通期）

【億円】



## 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞  
日揮ホールディングス株式会社  
グループ経営推進部 コーポレートコミュニケーショングループ  
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112  
E-mail: ir@jgc.com